

玉川教会たより



☆我が家に子犬がやってきた。初めての経験でトイレのしつけ方も分からない。

☆「犬は何故人間になつくのか」からはじめて、「犬の気持ちが分かる本」、ついに「犬の言葉を理解する」という本を読んだ。

☆語彙が少ないから英語よりは楽と考えたのが甘かった。単語が少ない分、一語一語が状況に応じて実に多様な意味を持つ。真反対になる場合もあるから要注意。

☆結局、犬の言葉を理解すれば犬の気持ちが分かるのではなく、犬の気持ちが分かると犬の言葉を理解できる。そういうことだ。

☆ひるがえってみれば、人間だって同じことだ。「ばか」という単語が状況設定に対応してどれほど沢山の意味を持つか。

☆互いに心を通わせあうためにある筈の言葉が、長い年月をかけて、バベルの塔のように積み重ねられ、何の意味を持たないばかりか、かえって混乱を生む。そんな愚かな対話をするのは人間だけだ。言葉は武器ではなく、愛を伝えるすべだ。

竹澤牧師著「あらしふくときも」から

愛 主イエス・キリスト

クリスマス、おめでとうございます



「玉川教会たより」は本号で500号となりました